

株式の状況

Stock Information

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数18,970,000株

発行済株式の総数7,378,050株

株主数2,129名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
那須電機鉄工株式会社	909,200	12.35
積水樹脂株式会社	777,000	10.56
ケー・エフ・シー取引先持株会	447,200	6.08
高田俊太	400,900	5.45
株式会社三菱UFJ銀行	307,000	4.17
光通信株式会社	273,600	3.72
株式会社中外精工	175,000	2.38
エムエスティ保険サービス株式会社	150,000	2.04
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	125,300	1.70
上田薫	125,000	1.70

(注)持株比率は、自己株式(18,512株)を控除して算出しております。



ガイナSHシートボード工法施工状況

株主メモ

Stockholder Memo

事業年度毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会毎年6月に開催

基準日

定時株主総会3月31日

期末配当3月31日

中間配当9月30日

その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座管理機関三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

(連絡先)三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL(通話料無料)0120(094)777

公告方法電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載いたします。

なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

ウェブサイト <https://www.kfc-net.co.jp/>

上場証券取引所東京証券取引所 スタンダード市場

単元株式数100株

証券会社等ご利用の株主様はお取引の証券会社等へお申し出ください。

証券会社等ご利用でない株主様は上記特別口座管理機関にお申し出ください。



首都圏中央連絡自動車道 幸手西遮音壁工事 施工状況

株式会社 ケー・エフ・シー

KFC

REPORT

時代のニーズに対応する、先進の技術を追求めて

第61期中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

株式会社 ケー・エフ・シー

証券コード：3420

Trust Safety Functionality



時代のニーズに先進技術で応え続けて半世紀 建設用アンカーのパイオニア

建築土木用アンカー製品からトンネル内装工事・サポートまで幅広く対応しております。

当社では、埼玉県加須市に全事業部門を横断的に統一した技術部門である技術研究所を設けております。それぞれの事業部からフィードバックされる情報、アイデアなどをもとに、新たな製品、技術、工法を開発するとともに、既存技術の異業種、他分野への適応などについても研究しております。



設計・技術開発

現場からのフィードバックにより、さらに安全性と機能性を追求した新たな製品開発に取り組んでおります。



現場施工

トピックス

Topics

「ハイウェイテクノフェア2024」に出展いたしました

2024年9月26日(木)～27日(金)に東京ビッグサイトで開催されました「ハイウェイテクノフェア2024」に出展いたしました。

主な展示内容

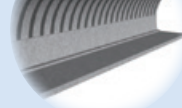


ホーク・インナースリーブアンカー typeR

ホーク・ネーリング



視線誘導ライン反射材



ガイナSHシートボード工法



株主の皆様へ

Top Message

株主の皆様には、
平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長 高田 俊太



当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中、設備投資の持ち直しや公共投資が堅調に推移したことなどにより、景気は緩やかな回復が続くことが期待されております。一方、欧米における高い金利水準の継続や、中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れリスクもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移しているものの、慢性的な建設技術者・技能労働者の不足や建設資材の高騰など、業界を取り巻く環境は予測を許さない状況にあります。

このような状況の下、当社グループの当中間連結会計期間の連結業績につきましては、売上高は116億76百万円となりました。収益面につきましては、売上高の増加があったものの完成工事総利益に占める完成工事原価の割合の増加や、販売費及び一般管理費の増加などによる影響により、経常利益1億38百万円、親会社株主に帰属する中間純利益95百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、世界的な物価上昇の影響を受けながらも、コロナ禍からの社会経済活動の再開で個人消費や設備投資、インバウンド消費などが活発化するものと見込まれますが、引き続き金融情勢、地政学リスクに注視が必要な状況にあります。

一方、建設業界においては、公共建設投資は堅調なもの、自然災害等による工事発注の延期・進捗遅れなどの懸念のほか、建設資材価格や運搬費の高騰、建設技術者・技能労働者の慢性的不足や建設業におけるデジタルトランスフォーメーションの進展など、数多くの課題を抱えており、事業環境をめぐる見通しは今なお不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社は、建設DXの推進や多様な人材の確保と育成、働きがいやワークライフバランスなどの時代の要請に応えながら、次の成長ステージへの事業基盤を創出するとともに、環境・社会と共存できるサステナブルな事業体制を構築することに注力し、中長期的な視点で持続的に成長する企業を目指してまいります。

また、常にオンリーワン技術にチャレンジする当社の精神を礎とし、豊かな社会資本・インフラ整備に貢献する「業界のリーディングカンパニー」としての企業体制を確立してまいります。

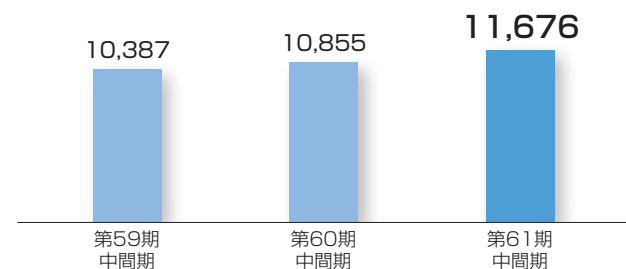
これらの着実な積み重ねにより、いかなる市場環境においてもステークホルダーの皆様のご期待に応えることができる企業力を築いてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

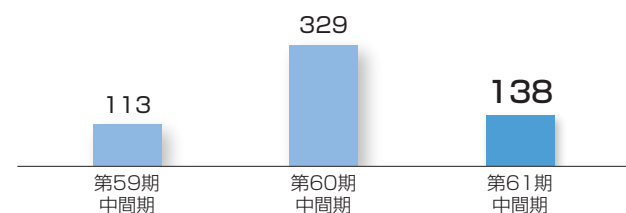
財務ハイライト(連結) Consolidated Financial Highlights

(単位:百万円)

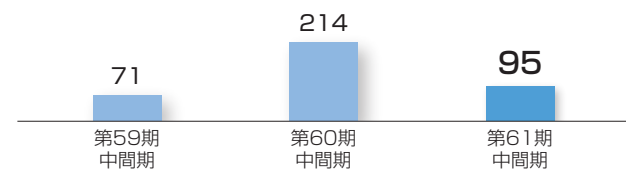
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する中間純利益



事業部門別概況

セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

ファスナー事業

売上高

33億8百万円

前年同期比

0.2%
増



「あと施工アンカー」をはじめとする建設資材の販売は前年同期と比較して同水準で推移し、耐震関連工事においては受注が順調に推移したことなどにより、売上高は増加しました。



SRインジェクション



フック・カクティアンカー立会引張試験
(加須技術研究所)

土木資材事業

売上高

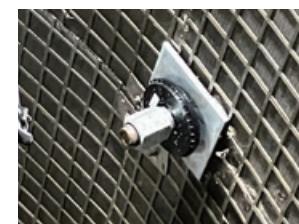
39億45百万円

前年同期比

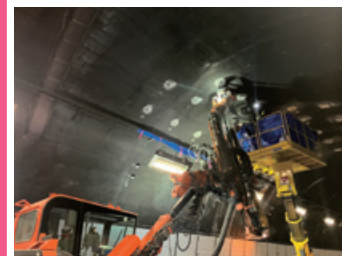
6.7%
増



東日本地区におけるトンネル掘削補助工法にかかる土木資材の販売、西日本地区においては主力商品であるロックボルトの販売が順調に推移したことなどにより、売上高は増加しました。



ZIKMO(ワイヤレス軸力モニタリングシステム)設置状況



ロックボルト補強工事 削孔状況

建設事業

売上高

48億82百万円

前年同期比

14.7%
増



子会社における資材販売が好調に推移し、高速道路のリニューアル工事等の工事物件も順調に進捗したことなどにより、売上高は増加しました。



令和4年度 中国自動車道(特定更新等)
千代田高速道路事務所管内構造物補修工事
(ウォータージェットはつり施工状況)

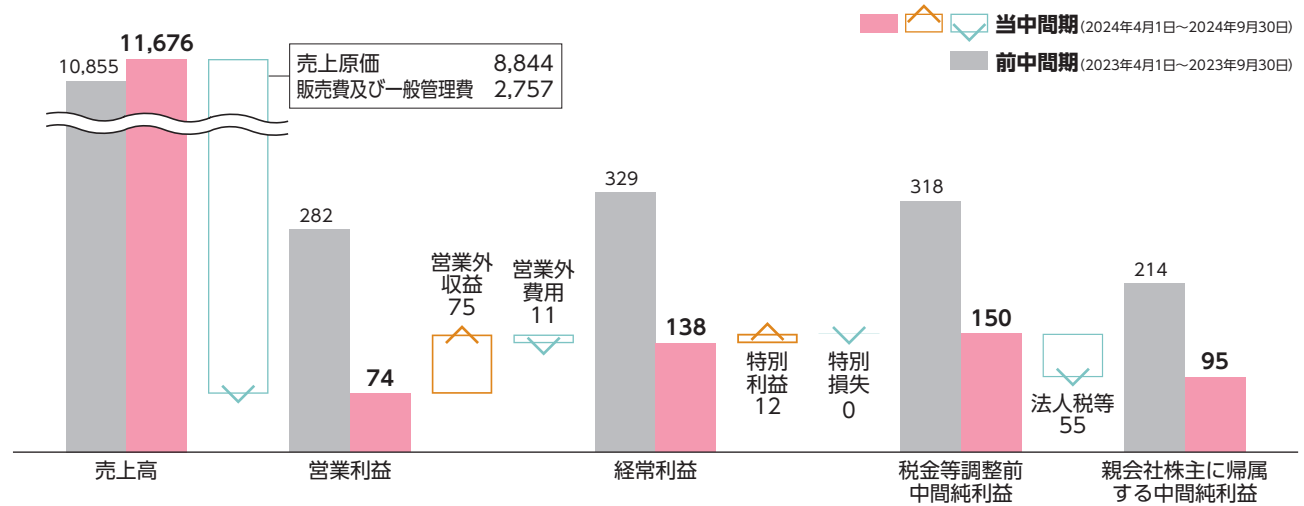


仙台東部道路 館腰橋補修工事

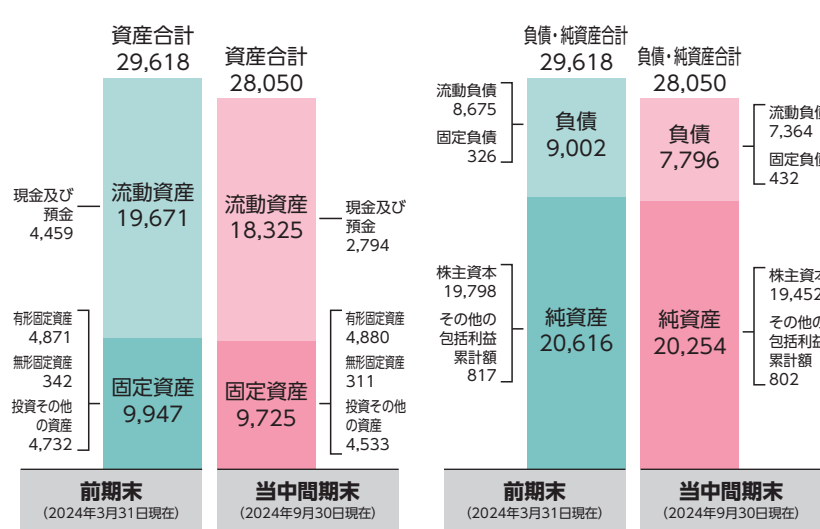
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

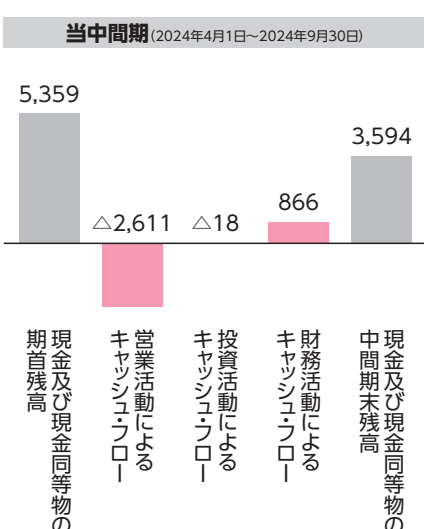
中間連結損益計算書 (単位:百万円)



中間連結貸借対照表 (単位:百万円)



中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



会社の概況

Corporate Profile

(2024年9月30日現在)

商号 株式会社 ケー・エフ・シー

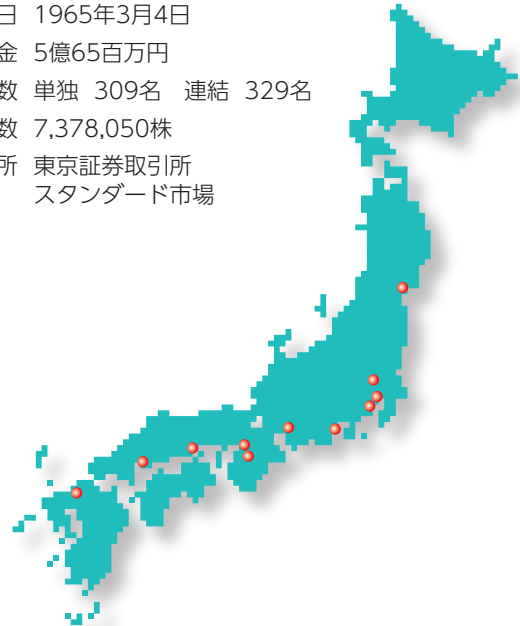
設立年月日 1965年3月4日

資本金 5億65百万円

従業員数 単独 309名 連結 329名

発行済株式の総数 7,378,050株

上場証券取引所 東京証券取引所
スタンダード市場



役員

取締役及び監査役

代表取締役社長(兼)執行役員社長	高石 俊 太
専務取締役(兼)専務執行役員	田 田 宗
常務取締役(兼)常務執行役員	稲 葉 朗
取締役(兼)執行役員	石 原 淳
取締役(兼)執行役員	村 野 知
社外取締役	佐 田 幸
社外取締役	野 村 裕
社外取締役	桐 口 子
社外取締役	中山 万 弘
社外取締役	五 島 義 洋
社外取締役	渡 部 靖 彦

執行役員

執行役員	大村 康 史
執行役員	千 井 良 和一
執行役員	新 足 裕 幸
執行役員	菅 井 吉 秀
執行役員	瀬 原 崇 陽
執行役員	清 水 光 達
執行役員	竹 本 幸 弘
執行役員	佐 竹 辰 州

本店・本社	
本店	〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL(06)6363-4188
東京本社	〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL(03)6402-8250 芝パークビルB館11階
流通センター	
大阪流通センター	〒584-0023 大阪府富田林市若松町東 TEL(0721)24-7511 3丁目4番2号
関東流通センター	〒347-0010 埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL(0480)76-0091
技術研究所	
	〒347-0010 埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL(0480)76-0095
	〒584-0023 大阪府富田林市若松町東 TEL(0721)24-7511 3丁目4番2号

営業所	
東北営業所	〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目15番1号 TEL(022)772-3981
横浜営業所	〒224-0061 横浜市都筑区大丸8番4号 TEL(045)949-5801 都筑岩澤ビル
静岡営業所	〒422-8043 静岡市駿河区中田本町45番16号 TEL(054)654-5670
名古屋ファスター部	〒461-0048 名古屋市東区矢田南 TEL(052)711-8088 5丁目1番11号
岡山営業所	〒700-0975 岡山市北区今7丁目7番13号 TEL(086)243-5722
中国営業所	〒732-0811 広島市南区段原4丁目5番2号 TEL(082)568-4750
福岡営業所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目16番10号 第一小笠原ビル TEL(092)461-2735

連結子会社 (国内)	
アールシーアイ株式会社	
大阪本店	〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL(06)6363-4362
東京本社	〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL(03)6402-7570 芝パークビルB館11階